

企業経営にプラス^{plus}するワンポイント情報誌

秋田県商工会連合会報

Akita Prefectural Federation of
Societies of Commerce and Industry

発行日／令和6年1月1日
(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

あきたBiz^{plus}

1

2024 January



ロマン！プラン！アクション！
秋田の未来を創る協議会が動き出す



見て、食べて、学んだ学生モニターツアー



あけましておめでとうございます



新年も、県内21商工会と県連合会は、協議会活動を中心として、成長プランを着実に実行してまいりますので、会員の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

長い間続いた新型コロナウイルス感染症は、5類に移行し、飲食店や宿泊施設を中心に、賑わいを取り戻してきました。

更に、秋田県経済には、今、洋上風力発電事業など再生可能エネルギーの先進県であることや全国有数の食料供給県であること、更には台湾チャーター便の4年ぶりの運航再開など、強い追い風が吹いています。

そのような中、昨年10月23日には、「政治」、「行政」、「大学」、「産業界」の様々な立場の方に参画いただき、将来の「明るい秋田」を目指す「秋田の未来を創る協議会」を設立しました。

本号では、協議会活動のスタートとして12月に実施した「学生モニターツアー」の取組をご紹介します。

新年のご挨拶

秋田県商工会連合会 会長 大森 三四郎



令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、景気が回復傾向にありました。

その中で、私たち経営者は、燃料や原材料の価格高騰などの課題に直面するとともに、働き方改革やデジタル化などの長期的な課題への対応も求められています。

一方、これからの秋田県経済を展望すると、大きなチャンスが到来しております。

洋上風力発電などの「再生可能エネルギー」の先進県であることや、全国有数の「食料供給県」であること、台湾チャーター便等による「インバウンド需要拡大」などです。

県連合会と県内21商工会は、このチャンスを地域経済活性化につなげるため、「政」「官」「学」「財」の各界に呼びかけ、昨年10月23日、「秋田の未来を創る協議会」を設立いたしました。

当日は、佐竹知事はじめ、県議会議員、市町村長、大学学長、商工会議所会頭、農協中央会長、観光連盟会長、漁協会長、地銀頭取、商工会代表など、各界のトップ等160名に参加していただき、多くの激励や期待の声を頂戴いたしました。

この協議会は、若者や女性の自由な発想によるアイデアをすくい上げ、専門家の力を借りてそれを具体化し、最終的には、単なる提言にとどまることなく、一つでも多く「行動」に移していくことを狙いとしております。

商工会組織にとって、このように活動の幅が広く、全县を視野に入れた取組は、大きな挑戦であります。今の時代は、「まず行動を起こすこと」が何よりも重要です。

私は、今年の抱負として、この協議会を「ロマン」「プラン」「アクション」の3つのキーワードのもと、「ワクワクするもの」にしていきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、是非、今後の「秋田の未来を創る協議会」の活動にご注目いただき、温かい声援を送っていただければ幸いです。

結びに、新しい年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げ、あいさついたします。

年頭のごあいさつ

秋田県知事 佐竹 敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界的な異常気象に加え、長期化するウクライナ情勢や中東での軍事衝突、円安の進行などに伴うエネルギー・食料品価格等の高騰により、県内でも多くの業種で影響を受けていることから、県では経済の下支えとともに活性化を図っているところであります。

秋田県商工会連合会におかれましては、物価高騰対策に加え、7月の大雨で被災した事業者への支援に積極的に取り組むとともに、「秋田の未来を創る協議会」を設立し、政・官・学・財のオール秋田で知恵を出し合い、明るい秋田の未来の実現に向け、協議会自らが具体的行動につなげていくこととしており、その積極的な姿勢に深く敬意を表します。

さて、県内人口の社会減少数は、4年続けて3千人を下回るなど、人口減少の抑制に向けた兆しも見え始めているほか、産業・雇用関連では、全国に先駆けて事業化された洋上風力発電が順調に稼働を続けているとともに、情報処理サービス業や製造業の企業が県内へ相次いで進出するなど、本県の強みを生かした動きが活発化してきております。

県としましても、物価高騰対策に引き続き取り組んでいくとともに、本県の更なる経済活性化を図るため、成長が見込まれる産業分野への参入支援や人材の確保・育成等のための施策・事業を積極果敢に展開してまいります。

商工会連合会におかれましては、地域経済活性化のけん引役としてより一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

学生モニターツアーについて

12月9日、10日に県内を3コース(県北・中央・県南)に分けてバスで巡る「学生モニターツアー」を開催しました。このツアーは「秋田の未来を創る協議会」の最初の事業であり、募集定員36名のところ、58名の応募がありました。(日程の都合により実際の参加学生数は49名)

参加した学生からは、若者の視点で多くのアイディアが出されました。

ツアー目的

学生が県内3地区の特徴的な「施設」「人」「食」等を見て、学び、体験し、学生の視点から秋田の魅力や改善のアイディアについて率直な意見をいただく。

参加者概要

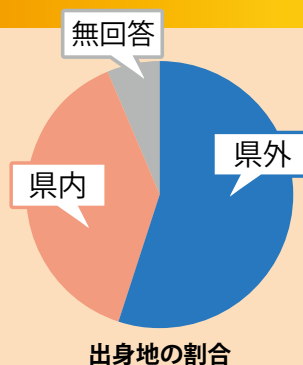
①参加大学等

秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学、秋田公立美術大学、聖霊女子短期大学、秋田工業高等専門学校

②学生数 49名 (うち1名は2コース参加)

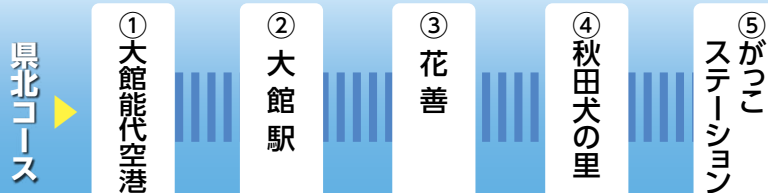
③出身地

県外	27名
県内	19名
無回答	3名

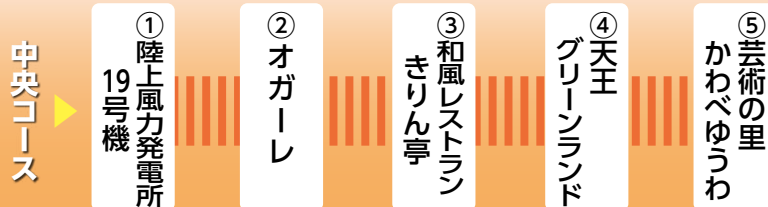


各コースのポイント

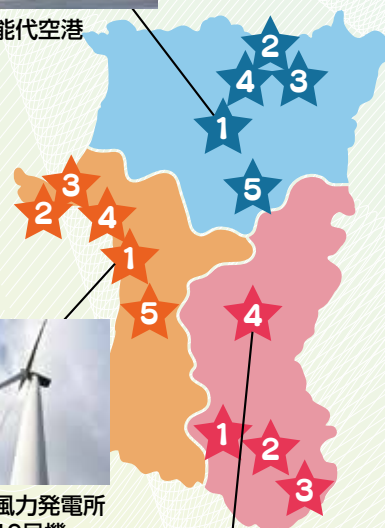
テーマ 空港や駅を核とした物流促進型



テーマ 再生可能エネルギー施設を核とした交流人口拡大型



テーマ 伝統産業等を活かした付加価値向上型



参加した学生に感想をお聞きしました

県北地区（参加学生18名）

大館駅



大館市の人流・物流政策についてお話を聞き、関連施設を見学

- ・まちづくりにおけるバックグラウンドストーリーが観光地としての魅力を高めるという観点が新鮮で、非常に説得力がありました。
- ・鉄道を活用したインランドデポ（内陸保税蔵置場）構想は、利用する企業と市の双方にメリットがあることに加えて、環境問題にもプラスの効果をもたらす点が魅力的なシステムだと感じました。

花善



花善の海外展開についてお話を聞き、鶏めし弁当を堪能

- ・ハチ公生誕 100 周年の期間限定の鶏めしは、おかずに地元食材を活用するなど工夫があり、秋田の食の良さを再確認できました。
- ・小学生が 100 周年駅弁マークを描いたことは、かけがえのない思い出と郷土愛につながると感じました。
- ・鶏めしの変わらない伝統の味、海外への販路拡大に向けた取組、社長の経営に対する姿勢に感銘しました。

がっこステーション



首都圏から移住した女性が、地域文化の継続に取り組む施設を見学

- ・地域を深く愛し、にぎわいをデザインする仕事は大変興味深いと思いました。
- ・いぶりがっこ消滅の危機のニュースを過去に見て将来を案じていたので、クラウドファンディングで漬物加工場を作った素晴らしい取組に感動しました。
- ・がっこステーションが“何かの小さなきっかけに”とおっしゃっていましたが、自分にとって今回のツアーがそのひとつになりました。

中央地区（参加学生15名）

陸上風力発電所19号機



風力発電事業の概要と地域共生の取組のお話を聞き、発電所を見学

- ・風が強いという秋田の気象条件を活かすだけでなく、新たなビジネスやプロジェクトも考えられており、発展の可能性を感じました。
- ・洋上風力発電による海の生態系への影響やコストを心配していたが、しっかり調査され対策が行われていると知り安心しました。
- ・間近で風力発電所を見て、思っていたよりも騒音が気になりませんでした。

和風レストランきりん亭



しょつつるを活用したご当地グルメ開発のお話を聞き、その味を堪能

- ・社長の郷土愛が強く、秋田のしょつつるを全国に発信しようと奮闘している点が魅力的でした。
- ・「男鹿しょつつる焼きそば」が長い間支持されているのは、商工会の努力があるのだと感じました。

芸術の里かわべゆうわ



芸術家を取り組むコミュニティづくりのお話を聞き、アトリエを見学

- ・空き家だからこそできる自由さに魅力を見出し、最大限に利用していることが素敵だなと思いました。
- ・自由な創作ができる環境を構築できる点が魅力的でした。
- ・芸術家だけでなく、多くの人が関わっていけばいいという考え方は、芸術の里の更なる発展につながると感じました。



県南地区 (参加学生17名)

西馬音内盆踊り会館



西馬音内盆踊りの歴史を学び、館内を見学

- ・伝統的な衣装のデザインや配色に個性があり、刺繍や和紙も親しみやすく魅力的でした。
- ・展示スペースの薄暗さが踊りの雰囲気と合い、世界観に引き込まれました。
- ・毎月行われる盆踊りの練習会は、コミュニティの形成という点で地域活性化につながると感じました。

佐藤養助商店



秘伝の技術が公開された歴史を学び、稲庭うどんを堪能

- ・うどんの端の部分を活用して菓子メーカーと共同で揚げ餅を開発するなど、商品展開の幅広さの他、SDGsの観点からも良いと思いました。
- ・可能なところは機械化しつつ、人の手で作ることで伝統的なおいしさや魅力を守るという工夫が素敵でした。
- ・稲庭うどんの歴史や製造工程を学んだことで、うどんが更に美味しく感じました。

川連漆器伝統工芸館



漆器の特性や製造工程のお話を聞き、史料館を見学

- ・漆器のイメージは赤と黒だったが様々な色があることを知り、川連漆器に対する興味が深まりました。製造工程の実演や動画があると良いと思いました。
- ・食器だけでなくアクセサリ等もあり、可能性を感じました。
- ・美術大学で講話していただければ、美大生は刺激を受けると感じました。

学生からのアイディア



“秋田で働きたい・住みたい・訪れたい”と思うために、また地域経済活性化につなげるために「もっと〇〇ならいいのに」と思った点を、スマートフォンを活用して、移動中にアンケートを行いました。

また、印象に残った場所でのコメントや写真をリアルタイムで投稿いただきました。

○ 投稿数 739件

○ うちアイディア数 240件 (うち県北地区 63件、中央地区 72件、県南地区 105件)

○ 投稿されたアイディア

【県北地区】

・大館能代空港の観光利用を促進するため、道の駅ふたつ等も含めた周遊観光バスツアーを計画してはどうか。(県外出身)

・がっこ市などのイベント運営に、地元の高校生等が関わることで、持続的な取組にできるのではないかと。(県外出身)

【中央地区】

・芸術家は販路開拓が苦手という話をされていたので、芸術に関心の高い学生やビジネスに興味がある学生と販売や広告を共同で行ってどうか。(県外出身)

・大学で発酵物の研究をしていたので、しょっつるの研究やマーケティング、海外販売などに関わりたい。(留学生)

【県南地区】

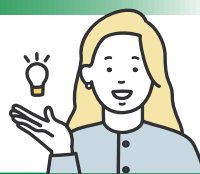
・稲庭うどんのPRには、YouTuberやVtuberを活用してはどうか。(県内出身)

・お客さんが伝統的な川連漆器を普段使いする生活を想像しやすくするために、アパートのリビングのようなセット等と一緒に展示してはどうか。(県外出身)



同行したスタッフから

- ・地域活性化を真剣に考え、多くの意見を投稿してくれてありがとうございました。
- ・大学等で専攻している分野と視察先がリンクしていると、内容にかなり興味を示してくれていました。
- ・見学先を初めて訪れたという学生が多く、将来の秋田への意見を新鮮な視点で発言、投稿してくれました。



会報のリニューアルについて

県連会報は昭和36年の第1号創刊から、本号で600号を迎えました。

2016年8月号(511号)のリニューアル以来、「商工会創生プラン」の狙いである個社支援を重視し、企業の経営にプラスになる情報を中心に取り上げてきました。

また、昨年度から推進している「商工会成長プラン'22-26」では、個社支援に地域経済活性化を加え、各商工会が地域事情を反映した独自戦略に取り組んでいます。

このことから、今後は個社の経営に役立つ情報に加え、独自戦略特集や県連の事業活動を取り上げるなど、600号を機に以下のとおり、リニューアルいたします。

なお、ページ数を増やすことで予算の制約があり、発行回数は隔月とさせていただきます。

今後は、取材や各種データ分析の時間の確保などを図りながら、「企業の経営に役立つ総合的な情報誌」を目指していきますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

1 発行回数 年6回(奇数月発行)

2 ページ数 6ページ(2ページ増)

3 コンテンツ

① 個社支援	補助金や制度の紹介、活用事例
② 地域経済活性化	各商工会の独自戦略特集
③ 県内経済状況	各種調査結果の分析や解説
④ 県連トピックス	県連事業の特集、お知らせ

次回発行は
3月号になります。

「秋田の未来を創る協議会」の最新情報を発信しています

協議会の事業に関する最新情報や、会報ではお伝えしきれなかった写真等を新たに開設したホームページとInstagramで発信しています。

ぜひ、ご覧ください。

・ホームページ

<https://r.goope.jp/akita-mirai-kgk>

・Instagram

https://www.instagram.com/akita_mirai_kgk/

Instagramをご利用の方はぜひフォローをお願いします。

ホームページ



Instagram



アカウント名

秋田の未来を創る協議会

広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも月々
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の
補償

「病気」の
補償

「がん」の
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む)